

平成29年度大磯町教育委員会第5回定例会議事録

1. 日 時 平成29年8月17日（木）
開会時間 午前9時00分
閉会時間 午前9時30分
2. 場 所 大磯町役場本庁舎4階 第1会議室
3. 出席者 野 島 健 二 教育長
曾 田 成 則 教育長職務代理者
青 山 啓 子 委員
濱 名 三代子 委員
長 嶋 徹 委員
仲手川 孝 教育部長
宮 代 千 秋 学校教育課長
山 口 友紀子 学校教育課副課長
森 田 敏 幾 参事（政策担当）
瀬 戸 克 彦 子育て支援課長
佐 川 和 裕 参事（歴史・文化担当）
山 口 章 子 生涯学習課長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
早 崎 薫 生涯学習課図書館長
秋 本 篤 史 （書記）学校教育課教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 2名
6. 教育長報告
7. 付議事項
議案第5号 平成29年9月補正予算における教育委員会予算要求について
8. 報告事項
報告事項第1号 平成28年度教育委員会所管決算見込みについて
報告事項第2号 大磯町文化財運営委員会委員の委嘱について
報告事項第3号 おはなしボランティア養成講座「『ブックトーク』してみませんか」の実施結果について
報告事項第4号 ミニ企画展「大磯の災害」の開催について
9. その他

(開 会)

教育長) それでは、ただいまから、平成29年度大磯町教育委員会第5回定例会を開催いたします。

本日は委員全員が出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望されている方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可します。

暫時休憩ののち傍聴人が入室し再開した。

(平成29年度第4回定例会議事録の承認)

教育長) 「平成29年度第4回定例会議事録」は、1ページから14ページに記載のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「平成29年度第4回定例会議事録」については、ご承認いただいたものとします。

教育長報告

教育長) それでは、7月定例会開催後の平成29年7月21日から本日までの教育委員会諸行事等について報告させていただきます。

7月5日、12日、19日の3日間、図書館や小学校でおはなしボランティアを希望する方や活動中の方を対象に、実践的な講座として「ブックトークしてみませんか」と題したボランティアの養成講座を実施いたしました。詳しくは、後ほど事務局からご報告いたします。

7月25日及び27日、昨年度に引き続き開講しました「小学生を対象とした子ども初級英語講座」を教育研究所主催で開催いたしました。英語指導助手や小・中学校教員の指導のもと、参加した児童は英語に親しむことができたものと感じております。

8月2日、町立学校のすべての教職員を対象に「教育課題研修会」を開催いたしました。午前中は、杉並区立済美教育センターの指導教授の福田鉄雄先生を講師に迎え、平成30年度から、これまでの小学校の「道徳」の時間が、「特別の教科」として、新たに位置づけられることに先立ちまして、「『道徳科』の授業構想と指導の実際について」のご講演をいただきました。また、午後からは、横浜国立大学教育人間科学部名誉教授の高木展郎先生を講師に迎え、「大磯町が目指すこれからの授業と学習評価について」のご講演をいただきました。これからの学校教育で求められることについて、町立学校の教職員が共有することができました。当日、ご出席いただきました、教育委員の皆様におかれましては、ありがとうございました。

そのほかにも、学校等の夏休み期間中を活用し、子どもを対象とした事業や教員を対象とした各種研修会を開催いたしております。

その他の諸行事につきましては執行状況表のとおりです。
なお、今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。
また、7月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事についての報告はございません。
本日の報告は、以上でございます。

議案第5号 平成29年9月補正予算における教育委員会予算要求について

学校教育課長) 議案第5号、平成29年9月補正予算における教育委員会関係予算要求について、ご説明いたします。

議案別紙をご覧ください。まずは、学校教育課分の説明です。

初めに歳入ですが、寄附金の教育費寄附金、小学校費寄附金です。こちらにつきましては、7月18日付けで、「小学校教育に活用してほしい。」ということで、篤志家の方より匿名でご寄附いただいたものになります。

続きまして、歳出です。予算科目は教育費、小学校費、学校管理費、事業名は、学校運営事業、備品購入費、学校備品購入費となります。寄附金を活用しまして、小学校教育の充実のために音楽楽器を購入します。今後の音楽活動の推進が期待されます。学校教育課分は以上です。

生涯学習課長) 続いて生涯学習課所管の案件です。

生涯学習課では生涯学習係と郷土資料館において、補正予算要求をいたします。

初めに、生涯学習係分として歳出科目は社会教育費、社会教育総務費。事業名は文化財保護事業、負担金補助及び交付金のうち、町指定文化財修理補助金の歳出科目変更による補正、及び、新規科目である御船祭山車等修理交付金の補正です。

理由としては、平成26年の寄附者の意向沿った執行として、御船祭用山車等交付金を創設したことによる増額補正をするものです。

次に、郷土資料館分の説明です。

旧吉田茂邸につきましては、4月1日からのオープン以来、予想を上回る来館者数となっています。このことに伴う補正を行うものです。

歳入につきましては使用料の教育使用料、社会教育使用料の旧吉田茂邸入館料です。

旧吉田茂邸の入館者数の増見込みによる歳入増です。

歳出につきましては、旧吉田茂邸運営事務事業と旧吉田茂邸維持管理事業、2つの事業での補正です。

旧吉田茂邸運営事務事業におきましては、臨時職員の増額に伴う社会保険料、賃金、のほか、入館者見込み増による、印刷製本費、そして、歳入増に伴う旧吉田茂邸整備活性化基金積立金の増額補正です。

旧吉田茂邸維持管理事業におきましては、防犯カメラ1台増設に伴う修繕料、来館者用、窓口用、研修用等の備品購入費です。

平成29年度9月補正における教育委員会関連予算要求の説明は以上です。

質疑応答)

青山委員) 吉田邸の関係なのですが、来館者が予想以上に多くて大変にうれしいお話だと思います。

今回のこの支出の方で、いろいろ来館者が多いためにもう少し整備するというので防犯カメラを増設したり、人員の配置を多くしたりということでございますけれども、来館者が多くなってきたことで何か問題が起きているということはあるのでしょうか。

郷土資料館長) 問題ということではありませんが、多くの方にご来館いただいておりますので、当初予定しておりました窓口対応などに人員的な不足が生じているような状況がございますので、賃金などによって手当をするというものでございます。

青山委員) 防犯カメラについては、ちょっと事故があつたりということは大丈夫ですか。

郷土資料館長) 防犯カメラにつきましては、現在既に十数か所カメラを設置しているところですが、そのうち地下にあります研修室につきましてはもともと防犯カメラの設置がございませんでした。ただ、使用頻度が増すことで防犯カメラの必要性が生じたので今回新たに増設するものでございます。

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。

議案第5号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第5号「平成29年9月補正予算における教育委員会予算要求について」は、原案どおりご承認いただいたものとします。

報告事項第1号 平成28年度教育委員会所管決算見込みについて

学校教育課長) 報告事項第1号、平成28年度教育委員会所管決算見込みについて説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに、大磯町全体の一般会計歳入・歳出決算見込額について説明します。歳入の決算見込額は、一番上の表の右から3番目、収入済額の108億2,947万5,939円で前年度比約2.5%の減、歳出の決算見込額は、次の表の右から3番目、支出済額の102億1,567万8,269円で約1.3%の減となります。それでは、教育委員会所管の歳出決算見込額について説明します。

3番目の表の科目、教育総務費の支出済額の欄をご覧ください。支出済額は1億9,682万4,030円で、前年度比の比率での増減はありません。不用額の予算額に対する割合は2.7%です。

次に科目、小学校費の支出済額は1億2,042万8,086円で、前年度比約33.0%の減、不用額の予算額に対する割合は約3.9%です。前年度比で大幅減の主な理由は、大磯小学校グラウンド改修事業が終了したことによるものです。

次に科目、中学校費の支出済額は1億7,139万208円で、前年度比約26.2%の増、不用額の予算額に対する割合は約4.0%です。前年度比で大幅増の主な理由は、前年度の体育館の耐震改修設計に引き続き、国府中学校体育館耐震補強改修工事を実施したことによるものです。

次に科目、幼稚園費の支出済額は 1 億 5,265 万 1,236 円で、前年度比約 15.7%の減、不用額の予算額に対する割合は約 2.7%です。

最後の科目、社会教育費の支出済額は 4 億 5,019 万 8,914 円で、前年度比約 2.2%の増、不用額の予算額に対する割合は約 2.8%です。

以上の決算見込額により決算書を作成し、9月大磯町議会定例会に提出し、承認を求めることとなります。平成 28 年度教育委員会所管決算見込額の概要説明は以上です。

質疑応答) 質疑なし。

報告事項第 2 号 大磯町文化財運営委員会委員の委嘱について

生涯学習課長) 大磯町文化財専門員会については、大磯町内の文化財について教育委員会の諮問に応じて、その保存や活動等に関する重要事項を調査研究するほか、必要と認める事項について教育委員会に意見を具申する役割をもって設置されています。

委員の任期は 2 年間。前回の任期は、平成 27 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日までであり、満了となっております。

このたび、新たな委員の選任が終了いたしましたので、文化財保護法ならびに大磯町文化財保護条例に基づき、新たな任期をもって委員を委嘱するものです。

委員の定数は 10 人以内ですが、前期委員同様、6 名の構成を予定します。

表は、今回、新たに委嘱する予定の委員一覧です。

専門分野を建築、彫刻、考古、民俗、植物、歴史と設定しまして、それぞれの分野における専門性を持った学識経験者に委嘱したいと考えております。

なお、表のうち、上から彫刻、考古、民俗、植物分野の委員につきましては、前期委員からの委嘱でございます。建築、歴史分野の委員については、新任として委嘱をいたします。新たな任期は、平成 29 年 9 月 1 日から平成 31 年 8 月 31 日までとなります。

なお、次の 2 頁目には、先ほどご説明しました、委嘱の根拠となります法令の抜粋を載せております。説明は以上です。

質疑応答) 質疑なし。

報告事項第 3 号 おはなしボランティア養成講座「『ブックトーク』してみませんか」の実施結果について

図書館長) 報告事項第 3 号のおはなしボランティア養成講座「『ブックトーク』してみませんか」の実施結果について報告させていただきます。

この事業は、お話ボランティアを希望する方や現在活動中の方を対象に、ブックトークの準備から実演のポイントなどの留意点を学び今後のボランティア活動に活かしていくことを目的として開催いたしました。開催日は7月5日、12日、19日の全3回で、場所は図書館本館の大会議室で開催しました。

講師は、出版文化産業振興財団の読書アドバイザーの江口陽子さんをお願いいたしました。講座の内容としては、第1回目は講師によるブックトークの実演。ブックトークの基礎知識、準備としての「ブックカード作り」から実演までのポイントを学び、第2回目は「ブックカード」を元にグループ内で本の紹介を行い。グループ毎にテーマを決めてシナリオ作りを行い、第3回目はグループ別の実演と講師の講評を行いました。

参加人数は延べ45人で、まだボランティア活動をされていない若いお母さんの参加もありましたが、今後の活動については今は子育てに忙しいが将来的に活動したいという方が多く、今後もこの養成講座を継続して実施し、将来の後継者を育成していくことが重要であると考えております。

質疑応答)

青山委員) この講座の実施結果から少し話が離れるのですが、アンケートの中の(2)で、活動している場所、「小学校」に7人と書かれているのですが、大磯小学校、国府小学校ということになるのでしょうか。各校何人ずつ活動されているのか分かりますか。

図書館長) 小学校で活動されている方が7名ということですが、主に大磯小学校で活動されている、「いもむし」というグループで活動されている方です。

青山委員) 学校訪問などに行ったときに、学校の先生からもこのお話ボランティアさんが来ていただいて活動していただいて活動いただくことは大変助かると聞いていますし、それから子どもたちの言語活動への一助になる部分もあるかと思しますので、学校での活動というのがもっと広がっているようになればいいなということで、意見として申し上げます。

報告事項第4号 ミニ企画展「大磯の災害」の開催について

郷土資料館長) 報告事項第4号、ミニ企画展「大磯の災害」の開催について、ご説明させていただきます。

資料1頁をご覧ください。平成24年度に開催いたしました企画展「大磯の災害」につきましては、展示の内容をわかりやすくまとめたパネルを作成して展示・活用が図れるようにいたし、過去パネル展や巡回展などを開催してまいりました。

本年は大磯町域にも大きな被害をもたらした、大正6年の台風による高潮被害から100年ということもあり、改めて過去の災害を振り返る機会として本展示を開催するものです。

場所は郷土資料館本館廻廊、平成29年9月5日(火)から9月21日(木)まで、15日間の開催を予定しております。

質疑応答)

曾田委員) 今回、地震風水害、噴火ということテーマがございしますが、地震風水害についてはわかるのですが、噴火というのはいつごろのものが対象となってくるのでしょうか。江戸時代かと思いますが、その点について教えていただけますか。

郷土資料館長) 噴火につきましては、江戸期の宝永年間に現在の宝永山のできた宝永大噴火がございまして、その時の火山灰の降灰が大磯にもしばしば見受けられまして、現在でも例えば発掘調査でも確認ができるところでございます。その宝永山の噴火およびその被害についてご紹介するものです。

(その他)

事務局) 次回の教育委員会定例会は、9月26日、火曜日、午前9時から、生涯学習館で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、平成29年度大磯町教育委員会第5回定例会を閉会いたします。お忙しい中、ご審議いただきまして、ありがとうございます。お疲れ様でした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

平成29年 9月26日

教 育 長 _____

教育長職務代理者 _____

委 員 _____

委 員 _____

委 員 _____